

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S12	施策名	職員の現場志向の向上	
担当部課	市長公室人事課		関係部課	全課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営		
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり		
	法定受託事務の有無	無		
	その他(関係計画、要綱等)	有	行政改革指針改訂版	
	施策開始の背景、経緯等	これからの超高齢・人口減少社会に対応するには、市民にもまちづくりの一員として役割を担ってもらう必要があるため、職員が地域に出かけ、地域を深く知ったり、市民同士をつなげる役割を担ったりすることにより、市民主体の取り組みを支えていく必要がある。		

施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） 職員が地域に出て、多様な市民と対話を積極的に行い、地域の課題を把握することにより、市民自らが地域の課題を解決することを支援し、市民同士をつなげる能力を向上させるための人材育成に取り組む。		
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） 職員		
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） 職員に「まち全体が職場だ」という意識が根付いている。		

目標・成果推移等①	施策に係る取組①		まちに出る研修の実施				
	R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		R8年度 (2026)		中期 (おおよそ3年後)
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標
	まちに出る研修の実施		-		-		-
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)
	-		-		-		-
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み
	(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②		スキルアップのための研修の実施				
	R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		R8年度 (2026)		中期 (おおよそ3年後)
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標
	市長との面談 15人 プレゼンテーション研修4人 折衝力・交渉力向上研修2人 ナッジ・行動経済学研修9人 ファシリテーション研修1人 住民参加のまちづくり2人		-		-		-
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)
	研修会等講師謝礼 0千円		研修会等講師謝礼 0千円				
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み
	(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人		(延べ) ー 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 地域共生社会の実現に向けて、地域住民等と対話や説明ができるように人事研修に取り組んだ。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 市民との対話や説明のスキルを学べる研修を全職員に提示し、参加の希望があった場合には、積極的に参加できるよう支援し、幅広い職員に対して多面的なテーマで能力開発の機会を提供することができた。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 予算の範囲内ではあるが、可能な限り研修の実施を行うことができた。 定量的な効果測定の手法が確立されていない点や研修成果の可視化が課題である。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 研修コスト、費用対効果等を測れるよう、成果が見える工夫が求められる。 育成の状況は、数値として表しにくいが、研修アンケートでの満足度は高い結果であった。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) これまでの取組により一定の成果が得られ、研修の紹介を通じて参加者の層も広がってきた。今後は、研修への参加が自然に定着すると見込まれるため、本施策は令和6年度をもって終了し、令和7年度以降は通常業務として継続実施する。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		